

自然観察サークル 7月フォローアップ研修ブログ



櫛田川

7月6日(木)自然観察サークルフォローアップ研修で三重県松阪市飯高町の「波瀬植物園」と奈良県宇陀市の「カエデの郷ひらら」に行ってきました。

波瀬植物園では数多くの希少な植物を観察することができました。またカエデの郷ひららでは様々なカエデの木に出会うことができ、改めてその数の多さに驚かされました。秋の紅葉の頃はさぞ美しいことでしょう。

波瀬植物園で観察した植物



ケイビランの花



ハゼユリ(ヤマユリ・ユリ科)

種を蒔いた翌年秋の発芽。花が咲くまでに少なくとも5～6年。



バイケイソウ(メランチュウム科シュロソウ属) バイケイソウの花

バイケイソウは湿原周辺の草原や明るい林内などに生育。



ノリウツギ(アジサイ科アジサイ属)糊の木(ノリノキ)とも呼ばれる。和紙を漉くときの糊に利用。



コウホネ(スイレン科コウホネ属)
水生植物



ワスレナグサ(シンワスレナグサ外来種。ムラサキ科)
日当たりのよい水湿地を好む



ミズバショウ(サトイモ科・多年草)
湿地に自生。純白の仏炎苞が花に見える。



クマガイソウ(ラン科・多年草)
環境省によりレッドリスト絶滅危惧Ⅱ類の指定



セリバオウレン(キンポウゲ科日本固有種・薬草・多年草)



フタリシズカ(センリョウ科・有毒・多年草)



アワモリショウマ(ユキノシタ科・多年草)



マルバマンネングサ(ベンケイソウ科・多年草)



ハンカイソウ(キク科・多年草)



ベニバナヤマシャクヤク(ポタン科・多年草・有毒・)

環境省 絶滅危惧Ⅱ類 奈良・京都 絶滅寸前種
ヤマシャクヤクは白い花、ベニバナヤマシャクヤクは
淡紅色。種は2年目に芽を出し花が咲くまでに
5~6年かかる。



ヤブレガサ(キク科・多年草・新芽は山菜)

カエデの郷 ひららで観察した木

カエデの郷ひららは廃校となった小学校の後を利用して作られました。



旧宇田小学校跡



小学校の中・宿泊施設もある



ひららの園内

観察した木(1200種3000本のうち)



ハウチワカエデ 日本固有種
(ムクロジ科カエデ属)



パープルゴースト
(ムクロジ科カエデ属イロハモミジの園芸種)



ヒナウチワカエデ 日本固有種
(ムクロジ科カエデ属)

メグスリノキもカエデの仲間だそうです。カエデといっても色々な葉のカエデがありました。今は深い緑が美しかったです、秋には紅葉して一段と美しくなるそうです。

波瀬植物園では多くの希少な植物を見学しました。ハゼユリ(ヤマユリ)やベニバナヤマシャクヤクなど希少な植物はその種を採取して蒔いて育てているということでしたが、種を蒔いてから花が咲くまでには少なくとも5~6年はかかるそうです。ササユリと同じように長い時間が必要なのです。生育環境を守り育てようとする根気と情熱が感じられ、感銘を受けました。里山でも頑張りましょう！